

第24期第3四半期累計期間の業績のご報告 (2019年7月1日～2020年3月31日)

2020年 5月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされた結果、厳しい状況となりました。先行きについては、感染症の影響により厳しい状況が続くと見込まれております。

駐車場業界におきましても、感染症の感染拡大防止を目的とした外出自粛の影響により、全国的に時間貸し駐車場の稼働率が大きく低下するなど、厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当社は「将来に亘っての成長」及び「安定した経営基盤づくり」に努めて参りました。営業面においては、駐車場の付加価値向上を図るべく、スマートフォンでの駐車場の検索から利用料金の決済可能なサービス「SmooPA」の普及に注力致しました。また、財務面においては、新規駐車場の開発拡大及び競合他社との差別化を目指したシステム投資に備え、新規に資金調達を実施致しました。

上記の他、得意先の新規駐車場の開設が堅調に推移したことから、コインパーキング事業における売上高は4,798,079千円となりました。

プロパティマネジメント事業は、「満室経営」を目指し、稼働率の向上に注力致しました結果、売上高は155,058千円となりました。

以上の結果、当四半期連結累計期間における売上高は4,958,778千円となりました。

事業区別	金額	前年同期比
コインパーキング事業	4,798,079千円	108%
プロパティマネジメント事業	155,058千円	89%
その他	5,641千円	75%
計	4,958,778千円	107%